

渡島・檜山支庁の気象

平成21年冬（12月～2月）のまとめ（2009年）

函館海洋気象台

平成21年3月30日

◎ 平成21年冬（12～2月）の天候 — 「高温・多雨（小雪）・並照」

【気温】

3か月の平均気温は-2.2～1.7℃で、平年差は+0.9～+1.9℃となり、すべての観測点で平年より高く、函館市川汲・函館市美原・松前・せたな町瀬棚・八雲町熊石・江差では平年よりかなり高かった。

【降水量】

3か月の降水量合計は202.0～622.0mmで、平年比は114～169%となり、八雲町八雲・木古内・松前・上ノ国町石崎では平年より多く、そのほかの観測点では平年よりかなり多かった。

【日照時間】

3か月の日照時間合計は124.8～278.8時間で、平年比86～125%となり、函館市美原では平年よりかなり少なく、函館市川汲では平年より少なく、八雲町八雲・木古内・江差では平年より多く、松前では平年よりかなり多く、そのほかの観測点では平年並だった。

◎ 月ごとの概況

【12月】「高温・多雨（並雪）・並照」

この期間、上旬は高気圧に覆われ晴れた日もあったが、中旬から下旬の前半は低気圧や気圧の谷の影響で雨や雪が降り、下旬の後半は発達した低気圧や強い冬型の気圧配置の影響で雪となり大荒れの天気となり、今金・厚沢部町鶉では12月における月降水量の多い方からの極値を観測した。

月平均気温は、平年並～平年より高く、月降水量は、平年より多く、月間日照時間は、一部を除いて平年より少ない～平年並だった。

【1月】「高温・並雨（小雪）・多照」

この期間、上旬の前半は冬型の気圧配置、その後は低気圧や気圧の谷の影響で雪や雨が降ったが高気圧に覆われ晴れる日もあった。

月平均気温は平年より高く、月降水量は一部を除いて平年より少ない～平年並、月間日照時間は一部を除いて平年並～平年より多かった。

【2月】「高温・多雨（小雪）・多照」

この期間、冬型の気圧配置が長続きせず、天気は周期的に変化した。13日～14日にかけて発達した低気圧の影響で大雨となった。

月平均気温は平年並～平年より高く、月降水量は平年並～平年より多く、月間日照時間は一部を除いて平年並～平年より多かった。

注：数値に、]や)が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における
平成 21 年冬（12～2 月）の各種資料

○ 気候表

	気温		降水量		日照時間	
	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)
函 館	0.0	+1.9 (かなり高い)	296.5	141 (かなり多い)	270.6	86 (かなり少ない)
江 差	1.5	+1.6 (かなり高い)	371.0	150 (かなり多い)	138.1	106 (多い)

(注) 表中平年比（差）の括弧付の値は階級を示す。

○ 極値・順位更新表（統計開始以来 3 位までの記録）

月	要素名	順位	地点名	観測値	これまでの極値	統計開始年
12 月	なし					
1 月	なし					
2 月	2 月における 日最大 10 分間降水量	2	江差	3.0 mm	3.5 mm (1993 年 2 月 27 日)	1941 年
2 月	2 月における 日最大 1 時間降水量	1	江差	11.5 mm	10.0 mm (2004 年 2 月 23 日)	1941 年
2 月	2 月における 月最大 24 時間降水量	3	江差	61.5 mm	83.5 mm (2004 年 2 月 22 日)	1971 年

○ 降雪量・最深積雪

	12 月		1 月		2 月		冬合計		冬最深積雪	
	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	(cm)	平年比 (%)
函 館	88	98	88	74	79	78	255	83	35	80
江 差	63	85	94	78	36	36	193	65	14	39

○ 真冬日日数

	12 月		1 月		2 月		冬合計	
	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差
函 館	5	-2	5	-9	5	-5	15	-16
江 差	1	-3	4	-7	4	-5	9	-15

※ 平年差は平年値（少数第 1 位）を四捨五入した整数値と日数との差

◎ 異常気象および気象災害発生状況

<p>2月13日～ 2月16日</p> <p>【檜山地方】</p> <p>山がけ崩れ害 沿岸波浪害 その他（雨害）</p>	<p>日本海の低気圧が発達しながら北海道を通過した影響で、雨が降り、融雪により崖崩れなどが発生した。また低気圧通過後は冬型の気圧配置となり風が強くなりフェリー欠航の被害が発生した。</p> <p>これにより、道路通行止2路線、がけ崩れ2ヶ所、落石1ヶ所、町道路肩損壊1ヶ所、海上交通4便欠航の被害が発生した。</p>
<p>2月20日～ 2月22日</p> <p>【渡島地方】</p> <p>強風害 積雪害 沿岸波浪害</p>	<p>北海道の西海上と三陸沖の低気圧が発達しながら北海道付近を通過した影響で、暴風雪と大雪となり、住宅屋根のトタン剥離、航空機やフェリーの欠航、列車の遅延、停電などの被害が発生した。</p> <p>これにより、住宅一部損壊6棟、非住家一部損壊14棟、漁業施設被害8ヶ所、鉄道遅延等4本、海上交通16便欠航、航空交通29便欠航、停電2,112戸（長万部町1,119戸、松前町993戸）の被害が発生した。</p>

◎ 気象経過図 (2008. 12. 1~2009. 2. 28)

地上気象：2008年12月1日-2009年2月28日

函館

江差

